

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 5 日
東京電力株式会社

< 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	16.0	106.0 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h	25.8	5.86 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.1 m ³ /h	22.3	0.21 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

* : 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- ・H26/2/4 10:12 3号機について、汚染水処理の負担低減および原子炉冷却のリスクを総合的に判断し、炉心スプレイ系の注水流量を 1.0m³/h 低減させる。最初の操作として炉心スプレイ系の注水流量を 3.4m³/h から 3.0m³/h へ変更。操作終了後、冷却状態を確認し、1週間を目処に炉心スプレイ系の注水流量を 3.0m³/h から 2.5m³/h へ変更予定。
- ・H26/2/6 2号機について、今後の作業や工事において、炉心スプレイ系を停止して給水系で全量注水する対応が必要になることから、事前に給水系の全量注水試験を実施し、原子炉冷却状態への影響を確認するため、原子炉注水量総量(4.5m³/h)を維持しながら、段階的に炉心スプレイ系から給水系へ替え替える操作を実施する。最初の操作として炉心スプレイ系の注水流量を 2.5m³/h から 1.5m³/h へ、給水系の注水流量を 2.0m³/h から 3.0m³/h へ、変更予定。

< 2 . 使用済燃料プールの状況 > (2/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.0
2号機	循環冷却システム	運転中	12.2
3号機	循環冷却システム	運転中	10.2
4号機	循環冷却システム	運転中	15.3

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

< 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	1/24 14:37 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/5 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中 ^{*1}	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

< 5 . その他 >

- ・H25/1/29～ 凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。
- ・H25/10/29～ 2, 3号機海水配管トレンチ内の滞留水の放射能濃度を低減するモバイル式処理設備については、処理装置の設置が完了したことから、11/3 から実施している吸着塔の通水確認を含めた使用前検査を受検中。その後、11/11、原子力規制庁からのモバイル式処理設備使用の承認(タービン建屋等へ移送する配管などを除く)が得られ、H26/2/3、原子力規制庁からモバイル処理設備の使用前検査と溶接検査の終了証が交付された。
H25/11/14 10:53～ 2号機側のモバイル式処理設備について、本格処理(連続)運転を開始。
H25/11/15 12:35～ 3号機側のモバイル式処理設備について、本格処理(連続)運転を開始。
- ・H26/2/6～ 1号機原子炉建屋1階南側エリアの汚染状況調査のため、床面のコアサンプルの採取を開始予定。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(2/4)>

- ・高線量当量率箇所(+ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は2/5 0:00 時点で約7,606m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上